



1月10日、都の杜うぐいすホールにおいて、「第62回都留市成人式」を執り行いました。
 今年新しく大人の仲間入りをしたのは、平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた皆さんで、該当者は617人となります。
 当日は、この該当者のうち、男性141人、女性129人の計270人が式典に出席し、美しい振袖姿や凛々しい羽織袴、スーツなどを身にまとい、懐かしい友人らとの再会を喜び、談笑する姿が会場のあちらこちらで見受けられました。



ご成人おめでとうございます 第62回都留市成人式

式典は、11時から行われ、堀内市長が式辞を述べ、新成人の新たな門出を祝いました。また、多くのご来賓の方からも激励の言葉をいただきました。

新成人を代表しての「誓いのことば」は、都留第二中学校卒業生の関口聖也さんが行いました。関口さんは、昨年映画「かぐらめ」が放映されたことや、大村智さんがノーベル生理学・医学賞を受賞し山梨が大きく注目されたことに触れ「地域の文化と伝統を継承していくことの大事さや、失敗を恐れず挑戦し、一歩一歩前進していくことの大切さを痛感しました。」と述べ、また「今後大きな壁にぶつかることがあっても、その壁を乗り越え、未来を信じ進んでいく」という決意を述べました。

また、「お礼のことば」は、都留第一中学校卒業生の小宮桃子さんが行いました。小宮さんは、式典の開催と、温かい励ましのことばにお礼を述べた後、成人を迎え大人としての義務と責任を背負っていくことに触れ「都留市の誇り高い素晴らしい郷土が益々発展していくよう、努力していくことを誓います。」と述べ、式典の最後を締めくくりました。

また、式典終了後、第二部として、新成人へのお祝いのことばを各中学校の恩師からいただいたビデオレターが上映されました。新成人の皆さんは、中学時代の写真や恩師の顔が写しされると、歓声を上げ、当時を懐かしんでいました。

成人された皆さん、ご家族の皆さん、おめでとうございます。